



広報

s a m m u

すまじ

12月号

2019.No.165

令和元年

山武市災害復興支援将棋大会
祝「王位」獲得 木村一基
将棋連盟成東支部

2020年東京オリンピック・パラリンピック
山武市はスリランカのホストタウン、キヤンパ地です。

令和元年秋の叙勲等の受章者が発表され、市内から多数の方が受章されました。

令和元年秋の叙勲

瑞宝単光章
専門工事業務功労

加我 学 氏（森）

地方自治功労

河嶋 隆 氏（武勝）

危険従事者叙勲

瑞宝双光章

防衛功労

相澤 圭介 氏（日向台）

警察功労

川島 清 氏（成東）

文化の日千葉県功労者表彰

健康福祉功労

伊藤 よしみ 氏（成東）

現 （一社）山武郡市医師会会長

現 山武市三師会会長

現 よしみ医院院長



健康福祉功労

木内 秀雄 氏（戸田）

元 （福）山武市社会福祉協議会
会長

健康福祉功労

篠原 靖志 氏（東金市）

現 （地独）さんむ医療センター
院長

地方自治功労

浪川 漣一 氏（蓮沼二）

浪川氏は、平成7年に蓮沼村議会議員に就任後、平成12年から約5年間、村長として村政発展および住民福祉の向上に努められました。

産業の拠点となる施設整備に注力し、村民の念願であった地域活性化の拠点施設として、道の駅「オライはすぬま」のオープンを実現させました。また、地域における効率的な行政運営の遂行のため、3町1村による合併の実現に尽力し、新市の誕生に貢献されました。

令和元年秋の褒章



藍綬褒章 更生保護功績
朝日 典男 氏（蓮沼イ）

朝日氏は、平成9年から保護司として活動し、平成19年には山武地区保護司会理事、平成29年には山武地区保護司会副会長と長期間更生保護業務に携わられてきました。その長きにわたる功績が評価されこの度の受章となりました。

山武市表彰

多分野で市に貢献された方に、功労表彰と善行表彰を行いました。

功労表彰

多年にわたり青少年相談員として、青少年の健全育成に貢献をされました。

齊藤 美由紀 氏（埴谷）

善行表彰

学校用地として、所有する土地を寄贈していただきました。

綿貫 健一 氏（大木）

多年にわたり植林活動を行い、震災により失われた海岸保安林の再生に貢献をされました。

特定非営利活動法人
森のライフスタイル研究所
（東京都千代田区）

台風による住宅被害修繕支援制度

国および千葉県では、令和元年「台風15号」または「台風第15号および第19号」により被害を受けた住宅の修繕に対する支援を行っています。

支援制度			応急修理 受付中	被災住宅修繕緊急支援事業補助金 12月以降受付開始を予定
住宅の被害程度			事前着工は対象外・市から業者への支払い	10万円以上の工事が対象で工事費の20%を補助、事前着工でも対象・工事完了後に市から申請者へ支払い
全壊			(最大59万5千円) ○	—
大規模半壊			(最大59万5千円) ○	—
半壊			(最大59万5千円) ○	(応急修理を利用しないことが条件・最大50万円) ○
一部損壊	損害割合	10%以上	(最大30万円) ※拡大支援 ○	(応急修理を利用していない場合最大50万円) (応急修理を利用している場合最大20万円) ○
		10%未満	—	(最大50万円) ○

(注意事項)

- ◆被災状況等により、制度利用に一定の条件があります。◆住宅の被害程度の判定には、山武市役所課税課が発行する「罹災証明書」が必要となります。◆「一部損壊」のうち10%以上か10%未満かの判断は受付の際に写真により行います。(10%以上となる損害例：屋根が貫通して雨水が侵入し1部屋以上が明らかに使用できない)。
- ◆被災住宅修繕緊急支援事業補助金については詳細が決定次第お知らせします。詳しくは、ホームページをご覧ください。

応急修理および被災住宅修繕緊急支援事業補助金対象工事の例

制度の名称	対象工事	対象工事でないもの
応急修理	屋根・外壁・窓等の基本部分、上水道等の配管・配線、トイレ等の衛生設備などの日常生活に欠くことができない部分	災害が原因でない破損箇所、解体工事のみ、洗浄・消毒等内装に関するもの、畳のみの交換。支払済みのもの。
被災住宅修繕緊急支援事業補助金	応急修理に準ずる。工事完了済みのものも含む。	応急修理に準ずる。工事費10万円未満のもの。

応急修理の提出書類

- ①申込書 ②罹災証明書 ③写真(建物外観の全景、被害を受けた部分を外側と内側から撮った写真。また、台風による雨水で浸水している場合はその部屋の全景および浸水した部分の写真) ④修理見積書(所定の様式によるもの) ⑤半壊以下の被害の場合は資力に関する申出書

応急修理の申込期限 令和2年3月31日まで(予定)

相談・受付窓口および受付時間 都市整備課 ☎0475(80)1192 午前9時～正午・午後1～4時(土日祝日を除く)

窓口相談の際には、以下の書類をお持ちください

罹災証明書の原本または写し、被害状況のわかる写真、修理見積書

1月14日(火)
市役所でパスポートの
申請・受け取りがスタート

令和2年1月14日(火)から市民課窓口でパスポートの申請、受け取りができるようになります。

写真は事前にご用意ください。手数料は受け取り時の支払いとなります。なお、受け取りは申請した窓口のみになります。

※詳しくはホームページをご覧ください。ただ、お問い合わせください。

対象 ①県内に住民登録のある方 ②県内に住民登録していないが、現在、県内に居住している方

受付時間 午前9時～午後4時30分(土・日・祝日・振替休日・年末年始を除く)

受付場所 市民課

取扱業務 一般旅券の新規および切替・記載事項変更旅券・査証(ビザ)欄増補の申請と交付、一般旅券(有効期間内)の紛失・盗難・焼失の届出

受取可能日 申請から9日目以降(日数は土・日・祝日・振替休日・年末年始を除く)

問 市民課

☎0475(80)1141

市の財政状況

市民の皆さんに市の財政状況をご理解いただくために、令和元年度上半期（4月～9月末）における予算の執行状況と平成30年度決算に係る財政健全化判断比率等をお知らせします。

1. 令和元年度上半期予算の執行状況

【一般会計】

令和元年度一般会計予算は当初予算額 229 億 6000 万円から令和元年 9 月までに 6 億 4182 万円の増額補正を行い、236 億 182 万円となりました。なお、前年度繰越額 16 億 3290 万円を含めた総額で 252 億 3472 万円となりました。

上半期における歳入の収入済額は 120 億 2812 万円で収入率は 47.7%、歳出の支出済額は 88 億 3752 万円で執行率は 35.0%となっています。

●歳入

区 分	予算現額	上半期(4/1～9/30)	
		収入済額	収入率(%)
市 税	56億1665万円	35億5262万円	63.3
分担金・負担金など(※1)	4億4531万円	2億3748万円	53.3
繰越金・繰入金	27億1707万円	12億4125万円	45.7
諸 収 入	8億9053万円	2億 205万円	22.7
地方交付税	65億5536万円	50億6059万円	77.2
国庫支出金・県支出金	41億4814万円	10億3619万円	25.0
市 債	34億1690万円	0万円	0.0
そ の 他(※2)	14億4476万円	6億9794万円	48.3
歳入合計	252億3472万円	120億2812万円	47.7

※1：分担金、負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金

※2：地方譲与税、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金 など

●歳出

区 分	予算現額	上半期(4/1～9/30)	
		支出済額	執行率(%)
議 会 費	2億1285万円	1億 777万円	50.6
総 務 費	31億9911万円	13億8160万円	43.2
民 生 費	73億6644万円	28億7107万円	39.0
衛 生 費	20億5590万円	8億1736万円	39.8
農 林 水 産 業 費	12億3252万円	3億4555万円	28.0
商 工 費	2億1747万円	9456万円	43.5
土 木 費	28億9193万円	4億3474万円	15.0
消 防 費	15億 39万円	5億4916万円	36.6
教 育 費	39億 735万円	9億8588万円	25.2
そ の 他(※3)	26億5076万円	12億4983万円	47.1
歳出合計	252億3472万円	88億3752万円	35.0

※3：公債費、災害復旧費、諸支出金、予備費

【特別会計】

特別会計名	予算現額	上半期(4/1～9/30)			
		収入済額	収入率(%)	収入済額	執行率(%)
国民健康保険特別会計(事業勘定)	69億1970万円	27億 37万円	39.0	25億2851万円	36.5
国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)	1億3347万円	5193万円	38.9	5034万円	37.7
後期高齢者医療特別会計	5億5260万円	1億9649万円	35.6	1億1340万円	20.5
介護保険特別会計	47億9151万円	23億8431万円	49.8	19億3956万円	40.5
組合立国保成東病院事業清算事務特別会計	2億 100万円	1億 525万円	52.4	6534万円	32.5
地方独立行政法人さんむ医療センター公債管理特別会計	1億2327万円	3662万円	29.7	3662万円	29.7
農業集落排水事業特別会計	2億8918万円	1億2845万円	44.4	1億2258万円	42.4

2. 平成30年度決算に係る財政健全化判断比率および資金不足比率

【財政健全化判断比率】

山武市の財政状況は健全段階にあります。全ての指標で国の定める基準を下回っており、良好な状態にあります。

(単位：%)

区分	山武市の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率(※4)	—	12.87	20.00
連結実質赤字比率(※5)	—	17.87	30.00
実質公債費比率(※6)	9.1	25.0	35.0
将来負担比率(※7)	—	350.0	—

◎実質赤字比率と連結実質赤字比率は赤字がないため、将来負担比率は算出値がマイナスのため「—」で表示しています。

※4 普通会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率

※5 すべての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率

※6 借金の返済額等の大きさを資金繰りの危険度をみる比率

※7 市が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度をみる比率

【資金不足比率(※8)】

山武市は全ての公営企業で資金不足はなく、財政の健全性を保っています。

(単位：%)

会計名	山武市の比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0
農業集落排水特別事業会計	—	20.0

◎いずれの会計も資金不足が生じていないため、「—」で表示しています。

※8 企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度をみる比率